

あいち農産物生産流通レポート

平成26年9月号

情報サロン		
・4月どり加工・業務用キャベツの安定生産技術を開発 (農業総合試験場)		1
地域トピックス		
・農ライフ創生センターの取組 (豊田加茂農林水産事務所)		2
・愛知県果樹振興会ぶどう部会の現地研究会が開催されました (新城設楽農林水産事務所)		3
東日本情報		
・東京都中央卸売市場におけるキャベツの動向等 (東京事務所)		4
西日本情報		
・新規需要米の取組動向について (園芸農産課)		6
・「ふるさと全国県人会まつり」に出展します！(号外にて掲載) (食育推進課)		8
フラワーページ		
・第32回全国都市緑化あいちフェア」の開催概要について (建設部公園緑地課全国都市緑化フェア推進室)		9
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	10	
・名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し	11	
花き		
・切花・鉢花の9月の見通し(県内市場)	23	
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2014年6月)	27	
関連指数	28	

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

4月どり加工・業務用キャベツの安定生産技術を開発

農業総合試験場

はじめに

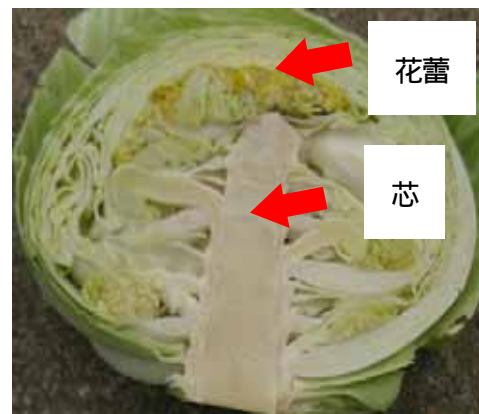
東三河地域は、全国有数のキャベツ産地です。産地の特徴は、冬系キャベツの生産割合が高いことと、出荷期間が10月から翌6月まで長期にわたることです。冬系キャベツは、加工・業務用としての適性が高く、愛知県産キャベツの加工向けシェアは25%以上と、とても高くなっています。

加工・業務用キャベツは安定供給が望まれています。冬系キャベツは4月に芯の伸長や結球不良がおりやすく端境期になります。そこで、農業総合試験場では、東三河地域における4月どり加工・業務用キャベツの安定生産のため、慣行品種の「冬のぼり」及び「りくと」について最適な播種・定植時期と株間を明らかにしたので紹介します。

1 播種・定植時期

8月31日から9月25日まで5日間隔で播種した後、育苗期間22日から25日で定植し、翌年4月26日に収穫、調査しました。両品種とも播種時期が早いほど結球重は重く、球締まりは良くなりました。9月10日播種・10月6日定植以降の遅播きでは、球内抽苔(芯の伸長や花蕾の発達)が目立ちました。そのため、4月に高品質な冬系キャベツを収穫するには、9月5日頃までに播種し、9月末までに定植することが望ましいと考えられました。

なお、8月31日播種では、3月に結球し収穫始期を迎えた後、最も品薄となる4月下旬まで出荷可能な品質を維持することができました。



遅播きでは球内抽苔が進む

2 株間

9月5日播種、10月4日定植について、うね間を60cmとし、株間を26cm、30cm、34cmの3段階で定植し、翌年4月16日に収穫、調査しました。両品種とも、株間が広い疎植ほど、芯の割合が少なく、球締まりの良いキャベツとなりました。「りくと」は疎植ほど結球重が大きく伸び、株間34cmでも収量は維持できましたが、「冬のぼり」は疎植で結球重が大きく伸びることはなく、株間34cmでは減収しました。以上から、加工・業務用に適した高品質・大玉生産のための株間は、「冬のぼり」が30cm、「りくと」が34cm(うね間は60cm)と考えられました。

3 今後の計画

冬系キャベツの4月どり作型は、作付け期間が長いため、安定生産には追肥のタイミングなど施肥技術の開発が必要と思われます。今後は、生育中の肥料吸収量を調査し、品種や気象条件に合わせた適切な施肥技術を明らかにしていく予定です。

「農ライフ創生センターの取組」

豊田加茂農林水産事務所

1 農ライフ創生センターとは

農ライフ創生センターは、平成 16 年度に、豊田市とあいち豊田農業協同組合が共同し、定年退職者の生きがいづくりや耕作放棄地の解消を目的とし農業を学ぶ場として、豊田市四郷町に開所し、今年で 10 周年を迎えます。

目的により 2 つのコースがあり、1 つは新規就農希望者向けの「担い手づくりコース」で、新規就農科、地産地食科、山間営農科に分かれ 2 年間の研修となっています。修了生は希望に応じて豊田市内の農地 10a 以上の斡旋を受けることができます。

もう 1 つは、「農地活用帰農コース」で、所有している農地を活用したいという人のための 1 年間の研修です。

2 これまでの取組

「担い手づくりコース」は 9 期生までが課程を修了し、その人数は合計 414 名です。うち、就農者は 330 名で約 80% が就農しています。就農者に斡旋された農地は合計約 45ha となっています。

受講生は、実習主体の研修を 2 年間受講しますが、その間に、年 2 回、春夏作と秋冬作について実践栽培ほ場判定会を行います。各受講生が耕作するほ場を県、市、農協、講師等が審査し、研修修了後に農地の斡旋を受けることが適当であるかの判定をします。



ほ場判定会審査風景

修了生の中には、農協の生産部会に加入する方もいます。加入人数の多い部会は、産直部会 68 名、イチジク部会 25 名、ナス部会 23 名、加工トマト部会 8 名、小菊部会 5 名となっており、地域農業の担い手として活躍しています。

「農地活用帰農コース」では、5 期生までが修了し合計 56 名となっています。

3 今後の在り方

定年帰農者支援を主な目的として開所した農ライフ創生センターですが、地域農業を支える役割も担いつつあります。

豊田市では、農業の担い手の高齢化・減少は大きな問題ですが、農ライフ創生センターの受講生は若い世代が増えてきており、研修修了後は地域農業の担い手となっています。すぐに独立就農するには技術的にも経営的にも不安がありますが、農協の生産部会に加入することが、就農後の支援体制となっています。

今後も、定年帰農者支援や耕作放棄地解消だけでなく、農業を通じた自立支援や地域農業の担い手育成の役割も担っていくことが期待されます。

新城設楽農林水産事務所

愛知県果樹振興会ぶどう部会の現地研究会が開催されました

平成26年7月8日(火)に新城市で愛知県果樹振興会ぶどう部会の現地研究会が開催されました。午前中はぶどう園の現地視察が、午後には講演会が行われ、盛況な研究会となりました。

午前中のぶどう園現地視察では、栽培園地の2か所を普及指導員と園主である菅谷さん、中神さんが説明しました。

菅谷さんの園地は、栽培方法が特徴的で、この地域ではじめて平行整枝短梢選定WH型に挑戦するなど、作業の省力化に励んでいます。



中神さんの園地では、「ぶどうお助け隊」とい(省力化に取り組む菅谷さんのほ場)う援農制度に取り組みされており、18名ものボランティアの人たちが、ぶどうの栽培管理のお手伝いをしています。今年は天候に恵まれたこともあって、順調に生育しているそうです。

午後は2つの講演が行われました。「ぶどうの鳥獣害対策について」は、愛知県農業総合試験場の小出哲哉氏が、動物の習性を利用した効果的な罠などを、写真や動画を使いながら紹介しました。ハクビシンは6cmの隙間があれば、ハウスに侵入できることや、かかしなどのほ場で普段よく見かける侵入防止対策では、実はあまり効果がないことなどを話されました。



(講演会の様子)

「ぶどうの植物成長調整剤の利用技術について」は協和発酵バイオ株式会社の成松淳氏が、フルメット、ジベレリンの使い方について解説しました。ジベレリン2回処理の基本的な方法から1回処理の使用方を紹介し、ジベレリン1回処理は1年目ではなかなかうまくいかないことが多いが、根気よく数年間続けて頑張してほしいとのことでした。

2講演ともぶどうを育成する上で欠かせない知識であり、参加者は積極的に耳を傾けていました。

東京都中央卸売市場におけるキャベツの動向等

最近、業務加工用野菜やカット野菜、お総菜などの中食に関する情報が多く提供されていると感じます。そこで、今回キャベツに関して、東京都中央卸売市場における入荷状況と量販店におけるカット野菜の販売状況について報告します。

1 愛知県産キャベツの入荷状況

愛知県産キャベツの東京都中央卸売市場における主な入荷時期は11月から翌年5月でした（図1）。12月から3月までは占有率が50%を超えており、3月は70%を占めていました。この期間の占有率は、愛知県が43.7%、千葉県が26.2%、神奈川県が19.9%（図2）で、冬場は愛知県産を中心とした入荷になっていました。他県の状況をみますと、千葉県は毎月2,000t以上の入荷がある中で11月と5、6月が特に多く、神奈川県は4、5月に入荷量が多くなっていました。

東京都中央卸売市場におけるキャベツの月別入荷量については、図3に示したように本年（H25.10～H26.6）は、6月に前年比107%と増加したものの、愛知県産の主力である11月～5月はすべて前年割れの入荷量でした。特に12月は対前年同月比89%となったことから、12月、1月は130円/kgを超える高単価となりました。この要因は、平成25年9月に通過した台風やキャベツが小玉傾向であったことが影響していると思われました。

平成25年の東京都中央卸売市場における上位10都道府県の入荷量と主な入荷時期を表1に示しました。入荷量の1位は愛知県で、群馬県、千葉県、神奈川県、茨城県と続いている。

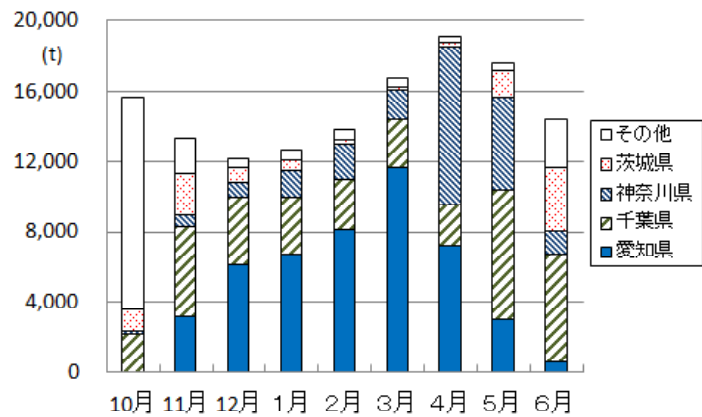


図1 キャベツの月別入荷量 (H25.10～H26.6)

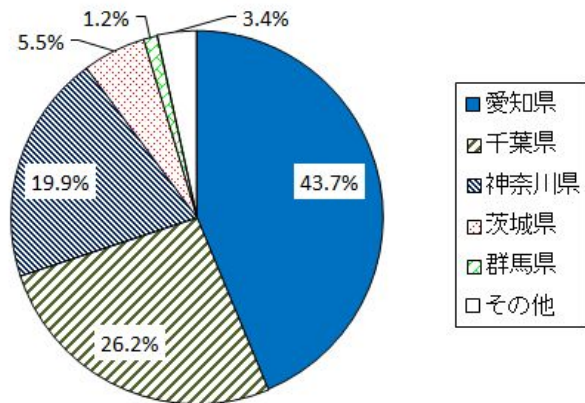


図2 キャベツの都道府県別占有率 (H25.11～H26.5)

新規需要米の取組動向について

■ 新規需要米とは

新規需用米とは、表 1 の用途のために生産されるものを指します。

これらのうち、飼料用米・米粉用米・

WCS 用稲については、食料自給率の向上に大きく寄与することから、経営所得安定対策等で助成措置がされています。また、飼料用米・米粉用米については、既存の水稻生産に係る機械設備が使用でき、新たな設備投資の必要がないこと、麦・大豆等の転作作物の作付けが困難な排水不良田でも作付けが可能であること等の利点があることから、近年、転作作物としての取組が広がっています。

表 1 新規需要米の分類

飼料用米	
米粉用米	
稲発酵粗飼料（WCS）用稲	
バイオエタノール用米	
輸出用米	
青刈り稲・わら専用稲	
生産数量目標の枠外で生産できる酒造好適米	
主食用以外の用途のための種子	
その他その用途が主食用米の需給に影響を及ぼさないもの	

は経営所得安定対策等の助成対象

■ 全国の取組状況

飼料用米・WCS 用稲・米粉用米の作付面積は、これらが助成対象となった平成 22 年度から急激に拡大しました。平成 25 年度の WCS 用稲は 26,600ha で前年に比べ微増しました。一方、飼料用米は 21,802ha、米粉用米は 3,965ha で前年に比べ減少しました（図 1）、これは加工用米や備蓄米へ移行したためです。

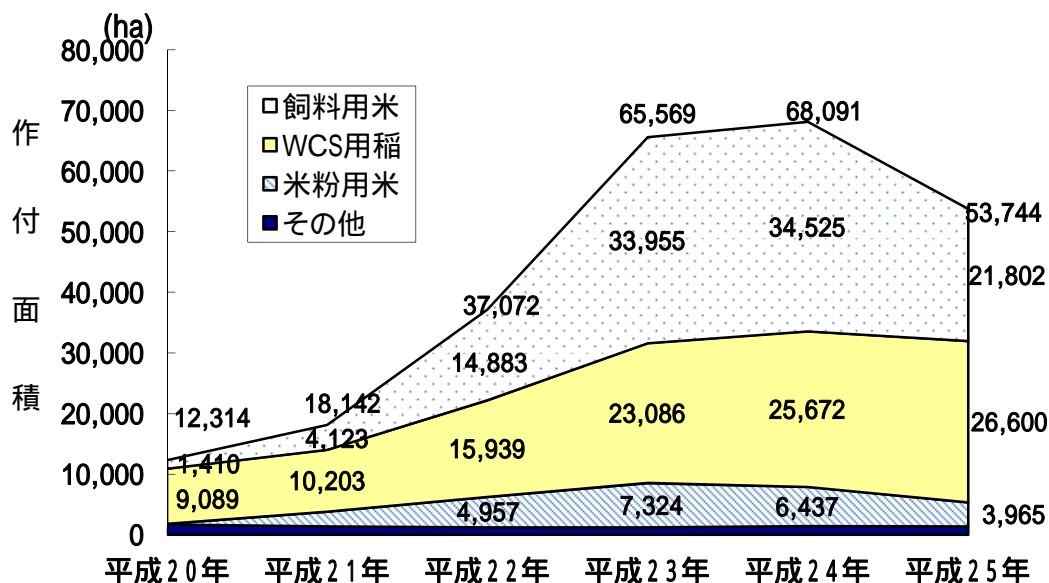


図 1 新規需要米の作付面積の推移 (平成 25 年 10 月 15 日現在)

資料：農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」、作付面積は認定面積

また、平成 25 年度の経営所得安定対策における飼料用米・WCS 用稲・米粉用米の合計支払面積も作付面積と同様に 52,022ha と前年に比べ減少しました（表 2）。

表 2 全国における水田活用の直接支払交付金の取組状況（支払面積）

	飼料用米	WCS 用稲	米粉用米	合計
25 年度	21,754 ha	26,353 ha	3,915 ha	52,022 ha
24 年度	34,316 ha	25,410 ha	6,372 ha	66,098 ha
23 年度	33,758 ha	22,856 ha	7,263 ha	63,877 ha
22 年度	14,773 ha	15,878 ha	4,920 ha	35,571 ha
増加率 (25/22)	147 %	166 %	80 %	146 %

注：22 年度は戸別所得補償モデル対策、23・24 年度は農業者戸別所得補償制度

■ 愛知県の取組状況

本県においては、平成 24 年度まで新規需要米の取組は大幅に拡大してきました。特に飼料用米については、尾張地域と東三河地域の麦・大豆の不適作地を中心にその取組が急増しました。

しかし、平成 25 年度は国が政府備蓄米の確保に向けて支援措置を実施したため、備蓄米面積が増加し、新規需要米の面積は前年比で 380ha 減少しました（表 3）。

平成 26 年度からは、経営所得安定対策の見直しに伴い、水田活用の直接支払交付金で飼料用米と米粉用米については数量払いが導入され、従来 80,000 円/10a から収穫量に応じ上限 105,000 円/10a までが支払われるようになりました。また、畜産農家からの要望が強い飼料用米については今後拡大していくことが期待されます。

表 3 愛知県における水田活用の直接支払交付金の取組状況（支払面積）

	飼料用米	WCS 用稲	米粉用米	合計
25 年度	492 ha	158 ha	48 ha	698 ha
24 年度	890 ha	147 ha	41 ha	1,078 ha
23 年度	729 ha	137 ha	35 ha	901 ha
22 年度	203 ha	79 ha	29 ha	311 ha
増加率 (25/22)	242 %	200 %	166 %	224 %

注：22 年度は戸別所得補償モデル対策、23・24 年度は農業者戸別所得補償制度

「ふるさと全国県人会まつり」に出展します！

ふるさと全国県人会まつり実行委員会の主催により、名古屋市中区栄の「久屋大通公園」において、9月6日（土）及び7日（日）に「ふるさと全国県人会まつり2014」が開催されます。本県は、ブース出展及びステージ出演などで例年参加しており、愛知県農産物需要拡大推進協議会（構成：愛知県、愛知県経済農業協同組合連合会）も農産物の販売による本県産農産物のPRを行います。この機会にトマト、いちじく、梨など、新鮮なあいちの農産物をぜひお召し上がりください。

また、各県人会のブースでは、郷土料理やお菓子、お酒などが揃い、ステージは、踊りや民謡、芸能で盛り上がります。人気のご当地キャラクターも集合し、会場を一周すれば、日本全国の魅力を味わうことができます。皆様のご来場をお待ちしております。

【名 称】 「つながる未来へ ふるさとの思い」
ふるさと全国県人会まつり2014

【開催日】 平成26年9月6日（土）～7日（日）

【時 間】 9：30～ 雨天決行

【場 所】 名古屋・久屋大通公園／久屋広場 地下鉄名城線「矢場町」駅 徒歩1分

【料 金】 入場無料

【内 容】 東海地区にある道県人会を中心に、郷土芸能、特産品販売、観光PRなどを通してふるさとの魅力を紹介する。

- ・各県人会によるブース出展
- ・各県人会によるステージでの郷土芸能披露
- ・ふるさと絵手紙コンテスト
- ・ふるさとの読売新聞展示
- ・ゆるキャラ!!大集合、スタンプラリー抽選会

昨年度の様子



「第32回全国都市緑化あいちフェア」の開催概要について

建設部公園緑地課全国都市緑化フェア推進室

全国都市緑化フェアとは、都市緑化意識の高揚や、知識の普及を図ることによって、都市の緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として、昭和58年から全国各地で開催されている花と緑のイベントです。

今年度は第31回として、3月下旬から6月中旬までの約3ヶ月間、静岡県において「浜名湖花博2014」の愛称で開催されたところです。

来年、2015年は愛知万博10周年にあたり、その開催跡地である愛・地球博記念公園をメイン会場に、第32回全国都市緑化あいちフェア（愛称：花と緑の夢あいち）を、9月12日（土）から11月8日（日）までの58日間、愛知県で開催いたします。

「自然の叡智」をテーマに、持続可能な社会への変革へ向けて歩み始めた2005年の愛知万博は、バイオラングなどの緑化技術を始め環境万博として、深く人々の記憶に根付いているところであります。

また、愛知県はモノづくり県であると同時に全国有数の農業県でもあり、とりわけ、花き産出額は昭和37年以来51年連続して全国一を続けていることから、第32回を迎える本県でのフェアは、あいちの花にこだわって、広く全国の人々に「花」を愛し、「緑」の力を知っていただけるフェアを目指します。

来年の全国都市緑化あいちフェアでは、多くの方に御来場いただき、「愛知万博10周年」と「あいちの花」を大いに楽しんでいただけるイベントとなるよう、開催に向け準備を進めてまいります。



会場（センターエリア）のイメージ図

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中心卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	569	568 (99%)	702	702	長野 (0.1%)
26年見通し	600	-	700	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>産地はほぼ愛知。今年も生育は順調。天候が不安定なので、今後の天候次第では入荷量に影響が出る可能性もある。価格は昨年と同価格に落ち着きそう。例年より露地ものは1週間～10日程度前倒しの傾向。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>			<p>愛知産は早めに出荷が始まる榊井ドーフィン、サマーレッドが中心であるが、サマーレッドも増えてきている。愛知はもともと玉は大きめであるが、近年は特に大玉のものが人気があるため、1パック3、4玉で出荷をしている。試食会等を通じて、更なる消費拡大を期待したい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	41	28 (68%)	1,587	1,569	静岡 (11%) 茨城 (5%) 岐阜 (4%)
26年見通し	41	-	1,600	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知産の入荷は、今月から本格化し、10月にピークを迎える。ここ数年9月の愛知産入荷量は25t前後で推移している。本年は出始めの頃にカビの発生がみられたが、今は落ち着いている。他産地も徐々に入荷がはじまるが、量的には少ない。入荷量は前年並を見込み、価格も前年並の見込み。</p>			<p>ぎんなんは秋の味覚として業務筋を中心に人気が高い。出荷に際しては、極端な数量変化が発生しないよう安定出荷をお願いしたい。また品種の切り替わり（久寿から藤九郎へ）時期や規格の変化等早めの情報提供をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し

名古屋市中央卸売市場

8月20日 現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	21年	36,865	195	212	202	174	北海道 42%
	22年	33,487	237	230	237	242	長野 23%
	23年	33,747	223	217	238	225	群馬 10%
	24年	35,362	175	175	180	172	青森 5%
	25年	32,269	234	230	240	238	
	5ヵ年平均	34,346	213	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	33,400	212	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、長野中心で、他に群馬。地域により、大雨、干ばつによる天候不安定により、順調な生育は見込めず、小玉傾向。今後も天候次第で出荷量は変わってくる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
だいこん	21年	2,557	95	115	99	75	北海道 60%
	22年	1,909	113	107	127	107	青森 31%
	23年	2,033	122	107	132	135	岐阜 8%
	24年	2,194	86	87	90	89	長野 1%
	25年	1,905	130	126	138	136	
	5ヵ年平均	2,120	108	108	116	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,000	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、青森中心。両産地ともに天候不順の影響を受け、入荷量は安定しない。太さもあまり見込めない状況。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
にんじん	21年	2,828	121	132	125	107	北海道 99%
	22年	2,282	169	181	175	175	中国 1%
	23年	2,458	119	128	132	127	青森 0%
	24年	2,411	104	103	120	92	愛知 0%
	25年	2,377	135	133	133	139	
	5ヵ年平均	2,471	129	135	136	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,400	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地はほぼ北海道。生育期である6月から9月にかけて続くと思われる高温、干ばつのため生育が悪く、細めの傾向。小玉傾向。入荷量も少なくなるおそれも懸念される。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

8月25日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	21年	138,503	206	228	208	183	北海道 31% 長野 15% 群馬 13% 青森 8% (愛知産比率 0%)
	22年	125,539	259	246	262	269	
	23年	128,293	244	236	248	249	
	24年	131,883	194	183	199	202	
	25年	131,101	253	247	268	245	
計	5カ年平均	131,064	231	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
26年見通し	131,000	250	-	-	-		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道から土物類や根菜類、関東高冷地からは葉茎菜類や果菜類が入荷する。土物類や根菜類は総じて生育良好だが、葉茎菜類、果菜類は台風11号とその後の降雨で少なめの入荷が予想される。全体の入荷量は前年並で、価格も前年並の見込み。</p>							
だいこん	21年	12,912	90	114	89	70	北海道 59% 青森 35% 岩手 4% 栃木 1% (愛知産比率 -%)
	22年	11,589	109	103	121	106	
	23年	11,320	114	96	117	131	
	24年	11,091	85	83	85	88	
	25年	11,477	126	116	131	131	
計	5カ年平均	11,678	105	102	109	105	前年及び本年の入荷量・価格の動き
26年見通し	12,000	105	100	105	110		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道と東北産地中心の入荷となる。北海道、青森ともに8月上旬の降雨、台風11号の影響で病害発生が危惧されるが、全体的には生育良好。入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回るが、平均並の見込み。</p>							
にんじん	21年	7,345	135	141	137	126	北海道 97% 中国 2% 青森 1% (愛知産比率 -%)
	22年	7,082	174	179	175	170	
	23年	7,374	126	126	124	129	
	24年	6,933	112	106	118	111	
	25年	7,561	133	130	132	136	
計	5カ年平均	7,259	136	136	137	134	前年及び本年の入荷量・価格の動き
26年見通し	7,500	120	125	120	115		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は台風11号の影響で一部葉折れ等がみられたが、生育は概ね良好で順調な入荷が期待できる。入荷量は前年並で、価格は学校給食需要に期待できるが8月が安値で推移しており、前年をかなり下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	21年	2,555	95	94	107	88	長野 89% 北海道 7% 群馬 4%
	22年	2,322	103	108	93	106	
	23年	2,339	107	89	128	122	
	24年	2,489	52	54	57	55	
	25年	2,225	98	110	123	84	
	5ヵ年平均	2,386	90	90	101	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	2,200	90	90	90	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野中心。作付け面積は減少している。天候が安定しないため、生育も不安定。今後、雨が続けば、葉腐れ等も懸念される。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					<p>ほうきさいの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね3,000トン前後で推移し、単価は50円/kgから150円/kg程度の変動があります。</p>
キャベツ	21年	3,880	93	94	95	89	群馬 65% 長野 23% 北海道 9%
	22年	3,889	91	83	92	97	
	23年	4,396	85	73	85	101	
	24年	4,873	55	54	59	55	
	25年	4,221	93	90	95	97	
	5ヵ年平均	4,252	82	78	84	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	4,200	90	90	90	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は群馬中心。ほか長野、北海道から入荷。大雨等の影響から、入荷量に影響が出るおそれがある。今後、天候が安定すれば、入荷も安定するであろう。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					<p>キャベツの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね4,000トン前後で推移し、単価は50円/kgから150円/kg程度の変動があります。</p>
ほうれんそう	21年	315	587	606	664	514	岐阜 78% 愛知 12% 長野 4% 群馬 2%
	22年	159	941	981	1,083	827	
	23年	191	800	744	969	746	
	24年	192	807	775	826	823	
	25年	170	877	876	928	839	
	5ヵ年平均	205	771	766	860	717	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	190	800	750	850	800		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜中心で、中旬より愛知が入る。岐阜産は、大雨によるハウスの損壊があるも、大幅な生産減にはならないであろう。今後、雨が続くと生産作業に影響が出る可能性がある。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					<p>ほうれんそうの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね200トン前後で推移し、単価は250円/kgから750円/kg程度の変動があります。</p>

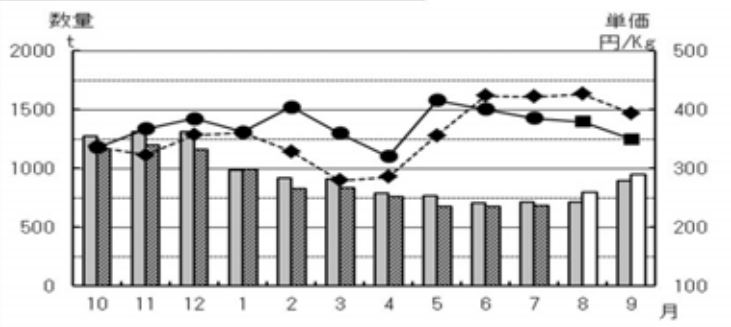
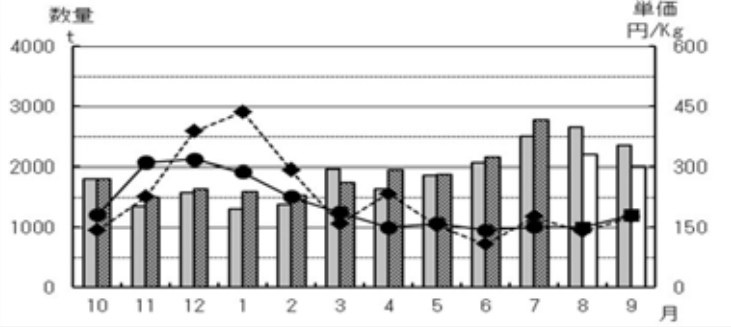
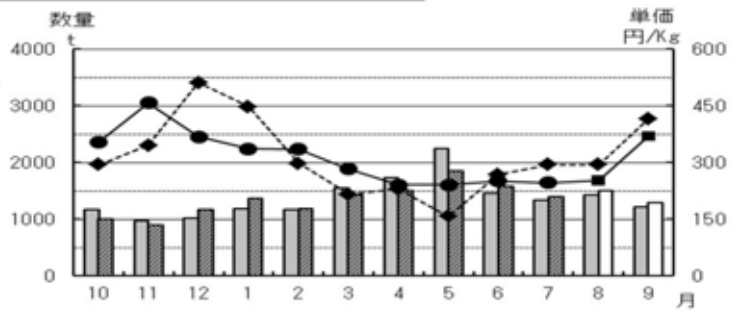
東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
			上旬	中旬	下旬	
ほうい	21年	8,465	86	90	89	長野 91% 北海道 5% 群馬 4% (愛知産比率 0%)
	22年	8,773	99	107	83	
	23年	8,101	107	82	116	
	24年	7,816	52	48	53	
	25年	9,114	99	103	114	
5カ年平均	8,454	89	86	91	89	
26年見通し	8,800	90	90	85	95	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>長野からの入荷が中心となる。長野は台風11号以降の降雨の影響で生育はまちまち。作付面積はやや減少するも8月下旬から順調な入荷を見込み、9月中下旬にピークを迎える。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回るが平均並の見込み。</p>						
キャベツ	21年	16,271	91	101	91	群馬 77% 岩手 14% 長野 5% 北海道 2% (愛知産比率 0%)
	22年	15,664	92	81	96	
	23年	15,362	85	71	84	
	24年	14,759	52	49	55	
	25年	14,560	97	90	100	
5カ年平均	15,323	84	78	85	87	
26年見通し	15,000	85	80	85	90	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。群馬は梅雨明け後の干ばつの影響で小玉傾向できていたが回復してきている。岩手は生育良好で順調な入荷を見込む。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回るが平均並の見込み。</p>						
ほうれんそう	21年	1,437	495	537	556	群馬 30% 栃木 23% 茨城 16% 岩手 11% (愛知産比率 - %)
	22年	800	832	822	1,009	
	23年	879	738	759	765	
	24年	860	724	759	714	
	25年	862	770	787	813	
5カ年平均	968	685	733	771	652	
26年見通し	840	770	770	770	770	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>関東高冷地と岩手からの入荷となる。群馬、岩手は作付減で、日照不足のため生育が停滞している。栃木は高温の影響で生育は停滞傾向、病害の発生もみられる。茨城は概ね生育良好。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年並の見込み。</p>						

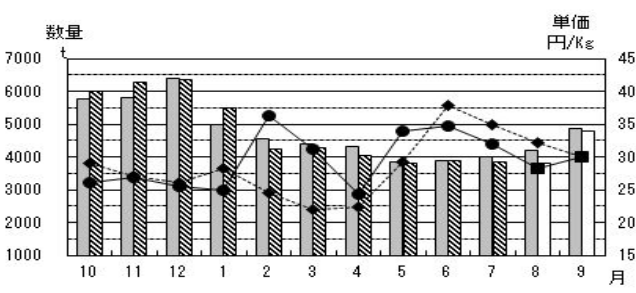
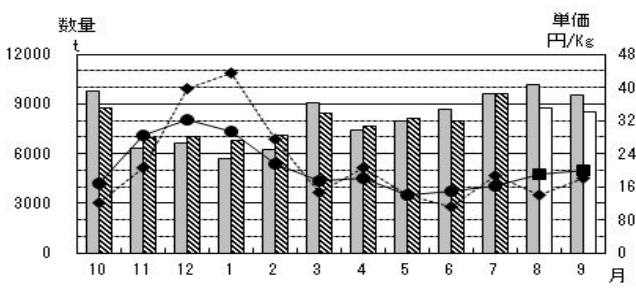
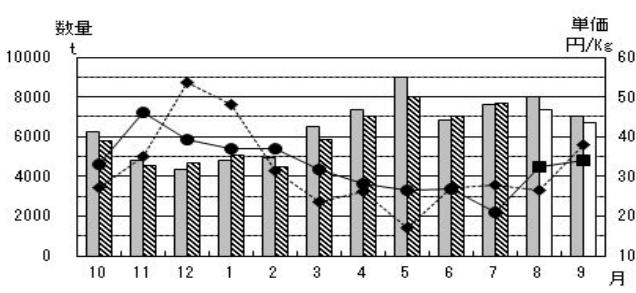
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
ねぎ	21年	1,125	317	332	325	293	北海道 39%
	22年	981	450	394	445	497	長野 18%
	23年	937	366	353	357	397	愛知 11%
	24年	932	336	321	350	343	中国 5%
	25年	894	394	413	407	368	
5ヵ年平均		974	371	361	375	377	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し		950	350	350	350		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道、愛知、富山。愛知の長ねぎは9月に終了の見込み。白ねぎは、北海道、富山中心。生育良好で、順調な出荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
レタ	21年	2,168	131	155	148	94	長野 99%
	22年	2,006	190	192	167	206	愛知 0%
	23年	1,627	278	315	341	237	茨城 0%
	24年	2,265	122	133	136	117	三重 0%
	25年	2,361	177	140	214	201	
5ヵ年平均		2,086	174	179	194	167	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し		2,000	180	150	190	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地はほぼ長野のみ。天候不順の影響により出荷量は安定しない。また、玉伸びも良くなく、単価も上がらない見込み。今後の天候回復に期待したい。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
きゅうり	21年	1,600	204	277	207	145	長野 34%
	22年	1,581	332	288	379	343	山梨 18%
	23年	2,316	221	166	233	276	北海道 18%
	24年	1,461	214	214	198	251	群馬 14%
	25年	1,213	415	387	472	395	
5ヵ年平均		1,634	267	253	285	277	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し		1,300	370	380	380	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>9月以降、長野、群馬中心でほか北海道、山梨から入荷となる。台風等の影響により、出荷量が昨年に続き少なく、高単価となる。今後も入荷量が少ない状況が続き、単価高の状況が続きそう。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	21年	5,114	215	243	207	196	青森 30% 北海道 17% 秋田 14% 茨城 10% (愛知産比率 0%)
	22年	4,305	401	314	368	504	
	23年	4,360	316	241	310	399	
	24年	4,352	280	256	276	310	
	25年	4,851	300	321	300	280	
	5カ年平均	4,596	299	275	292	338	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,800	300	290	290	320	
ぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>青森、北海道、秋田、茨城からの入荷となる。青森、北海道、秋田は8月上旬の降雨の影響で一部生育不良がみられるが、全体的には生育良好。茨城はわずかに作付減だが生育良好。 入荷量は今後の天候次第ではあるが、前年並を見込み、価格も前年並の見込み。</p>						
レタ	21年	9,105	126	151	143	91	長野 85% 群馬 9% 茨城 4% 岩手 1% (愛知産比率 -%)
	22年	8,236	191	191	173	206	
	23年	7,253	302	353	338	218	
	24年	9,554	116	120	123	104	
	25年	9,564	179	137	213	191	
	5カ年平均	8,742	177	190	198	162	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	26年見通し	8,500	220	240	210	210	
ス	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>長野を中心に、群馬から入荷する。長野は台風11号とお盆の降雨の影響で入荷量は少なくなる見込み。群馬は梅雨明け後の高温・乾燥で小玉傾向だったが回復してきている。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						
きゅうり	21年	8,802	177	257	174	118	福島 29% 群馬 12% 埼玉 11% 茨城 10% (愛知産比率 0%)
	22年	7,272	295	268	338	291	
	23年	7,388	321	314	277	401	
	24年	8,515	174	170	149	221	
	25年	7,028	379	352	422	366	
	5カ年平均	7,801	262	272	272	279	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	26年見通し	6,700	340	350	340	330	
り	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>東北産地から関東産地への移行時期となる。福島は抑制物が9月上中旬からピークを迎える。群馬、埼玉はハウス再建の遅れで栽培面積が減少。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年には及ばないが平均を大幅に上回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	21年	1,051	218	236	238	188	愛知 26%
	22年	853	294	228	331	337	山梨 22%
	23年	732	313	274	329	365	徳島 18%
	24年	935	208	192	207	237	茨城 13%
	25年	713	336	339	338	336	
	5ヵ年平均	856	267	248	282	283	
す	26年見通し	750	363	380	350	360	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は山梨、愛知、徳島中心。台風の影響が懸念されるも、昨年ほどにはならないであろう。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
マ	21年	1,408	396	458	401	339	岐阜 51%
	22年	1,074	548	518	517	603	北海道 18%
	23年	1,439	387	402	362	405	茨城 10%
	24年	1,472	364	290	421	413	愛知 7%
	25年	1,455	411	401	411	429	
	5ヵ年平均	1,369	414	407	417	429	
ト	26年見通し	1,400	400	380	400	420	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は岐阜、北海道中心。天候不順が生産に影響し、出荷量の減少が見込まれるが、販売不振により、単価は高くないであろう。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。							
ミ	21年	339	708	693	791	649	北海道 81%
	22年	272	1,028	923	1,083	1,091	長野 7%
	23年	373	736	731	713	774	茨城 6%
	24年	429	649	462	717	847	
	25年	379	846	738	969	844	
	5ヵ年平均	358	777	690	839	831	
ト	26年見通し	370	700	700	680	720	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道中心。9月以降は出荷量減少の見込み。学校給食の需要は見込まれるものの、単価高まではいけないであろう。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	21年	4,706	212	241	233	171	栃木 32% 茨城 24% 群馬 23% 埼玉 6% (愛知産比率 0%)
	22年	3,878	310	245	368	337	
	23年	3,849	304	276	283	386	
	24年	4,419	207	185	205	252	
	25年	3,665	352	314	363	385	
	5カ年平均	4,103	272	252	290	306	
26年見通し	4,200	300	270	330	300	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも、カメムシ類等害虫発生や強風によるスレ・キズがみられるものの生育は良好。 入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回るが平均をかなり上回る見込み。						
ト	21年	7,792	355	415	358	299	青森 17% 福島 17% 千葉 17% 茨城 13% (愛知産比率 0%)
	22年	6,388	517	485	480	596	
	23年	8,202	356	373	322	378	
	24年	8,898	328	253	387	359	
	25年	8,062	380	385	359	402	
	5カ年平均	7,868	381	382	381	407	
26年見通し	7,900	370	350	370	390	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	青森、福島、千葉、茨城からの入荷が中心となる。青森は8月の降雨で浸水被害があり、収量は前年を下回る見込み。福島、千葉、茨城の生育は概ね良好。茨城は作付減。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年、平均をわずかに下回る。						
ミ	21年	1,252	643	678	720	548	北海道 28% 茨城 25% 千葉 14% 青森 8% (愛知産比率 2%)
	22年	1,010	939	899	999	925	
	23年	1,270	686	713	655	687	
	24年	1,495	634	462	670	784	
	25年	1,617	755	710	813	737	
	5カ年平均	1,329	721	692	771	736	
26年見通し	1,550	750	720	780	750	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	北海道、茨城、千葉、青森からの入荷が中心となる。北海道は前進傾向での入荷。青森は8月の降雨で浸水被害があり、収量は前年を下回る見込み。茨城、千葉は生育良好。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年並の見込み。						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	21年	542	262	308	274	211	北海道 37%
	22年	495	402	361	413	432	岩手 36%
	23年	485	304	321	362	334	茨城 12%
	24年	475	218	274	259	234	
	25年	373	452	470	505	481	
マン	5カ年平均	474	321	340	354	329	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	450	300	300	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岩手、北海道など北の産地が中心。北海道は下旬頃から量が少なくなる。雨が多いので今後の生育が心配される。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	21年	2,937	102	122	106	85	北海道 93%
	22年	2,601	140	141	146	135	青森 6%
	23年	2,674	117	119	123	110	鳥取 0%
	24年	2,347	71	83	74	67	
	25年	2,395	138	143	149	127	
いしょ	5カ年平均	2,591	114	122	120	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,500	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道中心。青森からは男爵、メイクインの残量が出てくる。今年の生育は順調で、玉も大きくL玉以上の安定出荷が見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	21年	4,765	99	112	104	84	北海道 94%
	22年	4,985	101	98	95	108	中国 4%
	23年	4,292	88	79	95	98	兵庫 2%
	24年	4,879	86	104	91	80	佐賀 0%
	25年	4,073	105	109	110	108	
ねぎ	5カ年平均	4,599	96	101	99	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,900	95	95	95	95	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は中旬ぐらいまで兵庫(淡路島)が中心で、中旬は北海道が中心となる。順調な生産が見込まれ、L玉以上の出荷が見込まれる。外国産より国産志向が強く、国産は活発な販売となる。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピ	21年	2,285	218	255	221	178	茨城 40%
	22年	2,071	360	310	356	420	岩手 35%
	23年	2,179	240	229	269	240	福島 11%
	24年	2,421	157	169	153	150	青森 10%
	25年	2,076	403	387	437	385	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	2,206	276	270	287	275	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,100	270	280	260	260	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	茨城を中心に青森、岩手などから入荷する。茨城は生育順調で増量してくる。青森、岩手は風雨の影響で一時量が減ったが、中旬をピークに増量する。入荷量は前年並み、価格は過去最高に高かった前年を大幅に下回る見込み。						
ば	21年	7,773	120	123	119	118	北海道 94%
	22年	7,365	151	147	153	154	青森 5%
	23年	7,272	124	124	125	123	(愛知産比率 0%)
	24年	7,401	85	88	85	81	
	25年	8,105	141	142	144	138	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	5ヵ年平均	7,583	124	125	125	123	
	26年見通し	8,200	130	130	130	130	
い	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	北海道から入荷する。今年は降雨が多く、天候は安定していないが、おおむね生育は良好。8月下旬から出荷がはじまった「男爵」は肥大もよくL玉中心。輸送コストの影響で出荷物は集約され、入荷は増加する。入荷量は多かった前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。						
た	21年	9,216	116	124	115	109	北海道 87%
	22年	9,838	113	103	111	125	中国 8%
	23年	10,821	94	84	97	100	兵庫 4%
	24年	10,558	98	108	96	87	佐賀 1%
	25年	11,075	113	113	113	113	(愛知産比率 - %)
	5ヵ年平均	10,302	107	106	106	107	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	12,000	120	125	120	120	
ね	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	北海道から入荷する。8月下旬から極早生、9月は早生の入荷で、中旬がピークとなる。肥大期の天候が悪く小玉傾向でL、M中心となる。その後の肥大は順調。入荷量は前年をかなり上回り、価格も下げに入るが前年をかなり上回る見込み。						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	21年	13,757	280	273	297	268	長野 28%
	22年	12,727	285	310	283	267	フィリピン 15%
	23年	10,656	369	384	368	357	青森 10%
	24年	10,927	321	320	337	321	愛知 6%
	25年	10,639	349	360	365	253	
	5ヵ年平均	11,741	317	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	11,200	330	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は長野、愛知、青森中心。天候の影響を受けやすく、品質、出荷量への影響が懸念される。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
み か ん	21年	1,787	305	471	312	243	宮崎 21%
	22年	1,275	398	570	432	327	熊本 20%
	23年	1,200	357	504	399	296	三重 18%
	24年	1,201	316	535	355	253	佐賀 15%
	25年	1,173	304	451	339	242	
	5ヵ年平均	1,327	334	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,200	300	400	300	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は宮崎、熊本、三重、佐賀。三重の出荷時期により、入荷量・単価とも左右されることになりそう。ハウス物は安定した出荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みの見込み。							
な し	21年	2,382	230	239	224	224	長野 60%
	22年	2,071	374	373	376	374	愛知 9%
	23年	2,507	270	269	266	278	新潟 9%
	24年	2,351	319	318	326	312	秋田 7%
	25年	1,886	292	282	291	309	
	5ヵ年平均	2,240	295	294	294	297	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,100	280	300	280	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地の中心は長野。次いで愛知、新潟、秋田が続く。長野は昨年よりも前倒しの傾向。長野の豊水、南水は昨年より状態は良く、安定した出荷が見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	21年	46,085	259	280	262	240	青森 10%
	22年	37,515	362	372	363	352	長野 10%
	23年	39,788	294	283	304	297	福島 10%
	24年	36,934	339	357	350	311	フィリピン 8%
	25年	38,094	321	328	323	311	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	39,683	312	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	40,000	320	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>なし、りんご、みかん、ぶどうなどが入荷する。りんごはつがるが8月末から出る。天候被害もなく肥大も順調。ぶどうは長野、山梨を中心に露地の出荷が本格化する。着色が遅れているが、作柄良好。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
みかん	21年	4,961	260	401	265	215	宮崎 38%
	22年	3,408	350	494	341	309	熊本 23%
	23年	3,211	330	570	333	276	佐賀 14%
	24年	3,497	276	529	283	210	愛媛 8%
	25年	3,286	280	539	282	232	(愛知産比率 2%)
	5ヵ年平均	3,673	296	497	297	245	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	3,400	280	550	300	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>ハウスものは前年より残量が少なめ。中旬には切り上がる。上旬から露地の「極早生」が九州から入荷する。降水も十分で玉肥大はいい。宮崎は「日南1号」からはじまる。S玉中心で着果も良好。熊本は「肥のあかり」で小玉中心となる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
なし	21年	13,836	194	208	191	183	福島 28%
	22年	11,093	334	348	351	312	栃木 19%
	23年	13,196	224	209	235	229	茨城 18%
	24年	10,206	309	327	327	270	千葉 17%
	25年	10,968	240	236	241	241	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	11,860	255	260	263	243	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	12,000	270	300	280	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、千葉、茨城などから「豊水」中心に入荷する。平年並みの開花となったが、7、8月の天候の影響で肥大不足になっている。茨城はほぼ順調で、量も多い。千葉は、干ばつの影響で玉伸びが悪く、ばらつきもある。栃木も高温の影響で玉伸びが悪いが量はある。入荷量、価格とも前年をかなり上回る見込み。</p>					

切花・鉢花の9月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 8月27日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪ぎ	実績	21年	3,199	49	
		22年	2,243	59	
		23年	2,142	57	
		24年	2,046	57	
		25年	2,032	58	
	5ヶ年平均	2,332	55		
26年見通し	2,000	58			
概要	愛知、三重、長野等から入荷。長野産は2月の雪害の影響が残り、昨年に比して少ない。全般に大きな山なく、やや前進傾向にあるため、彼岸時期には品薄感があり、堅調な動きと思われる。				
小ぎ	実績	21年	2,500	26	
		22年	2,248	42	
		23年	2,102	33	
		24年	2,198	35	
		25年	2,421	31	
	5ヶ年平均	2,294	33		
26年見通し	2,200	35			
概要	愛知、長野、岩手、埼玉、奈良より入荷。台風の影響で傷んだ畑もあり、昨年よりも出荷は少なくなると思われる。前進傾向もあり、彼岸直前には品薄で高騰することも考えられる。				
カーネーション	実績	21年	1,103	43	
		22年	1,311	39	
		23年	1,438	36	
		24年	1,186	37	
		25年	1,272	45	
	5ヶ年平均	1,262	40		
26年見通し	1,200	45			
概要	長野、北海道を中心に入荷。今年は全般に前進傾向が強く、盆明けから高値が続いている。2月の雪害影響で9月においても品薄感があり、敬老、彼岸、ブライダルと需要は多いので、堅調に安定価格で推移すると思われる。				
かすみ草	実績	21年	87	137	
		22年	78	112	
		23年	91	96	
		24年	102	87	
		25年	99	152	
	5ヶ年平均	91	116		
26年見通し	100	150			
概要	長野、福島、北海道から入荷。天候次第で数量は安定しない。特に中旬以降は一般需要もあり、相場は強めである。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	21年	405	158	
		22年	420	165	
		23年	422	180	
		24年	400	144	
		25年	390	178	
	5ヶ年平均		407	165	
	26年見通し		400	175	
概要	<p>オリエンタルは新潟、岐阜、北海道、埼玉から入荷。彼岸に向け、出荷は増えてくる。天候が悪く、品質に不安定さがある。鉄砲は8月の台風の影響から秀品は少なく、出荷量も昨年より少なそう。LAは埼玉、新潟からの入荷。2月の雪害により埼玉の出荷は例年になく、少ない。堅調相場が予想される。</p>				
洋 ら ん	実績	21年	437	71	
		22年	549	68	
		23年	552	72	
		24年	565	61	
		25年	540	74	
	5ヶ年平均		529	69	
	26年見通し		530	70	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡等と輸入物が入荷。残暑が厳しい中、プライダル、彼岸関連で引合いが出てくる。各地での災害の影響を少なからず受け、品目によっては品薄気味の物もあるのではないかと。</p>				
ば ら	実績	21年	1,029	65	
		22年	909	73	
		23年	899	73	
		24年	887	64	
		25年	893	78	
	5ヶ年平均		923	70	
	26年見通し		900	75	
概要	<p>愛知、三重、岐阜、和歌山、長野、輸入等から入荷。品質も徐々に秋の訪れとともに良くなっていく。プライダル、敬老と需要はあり、引合いは強くなる。</p>				
枝 も の	実績	21年	1,626	41	
		22年	1,997	32	
		23年	1,795	43	
		24年	1,608	41	
		25年	1,663	46	
	5ヶ年平均		1,738	40	
	26年見通し		1,650	45	
概要	<p>長野、岐阜、東北地区から季節感を持つ物が入荷。天候にも左右するが、切り手が少ない山取り物は堅調に推移し、栽培物の柳類は弱そう。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラゼナ類	実績	21年	32,109	560	
		22年	29,127	619	
		23年	27,999	704	
		24年	29,097	730	
		25年	28,128	722	
	5ヶ年平均		29,292	664	
	26年見通し		28,000	714	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。生産サイズは大鉢が減り、中鉢、4号、5号がメインとなる見込み。 昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(64.1%)、2位沖縄県(17.0%)、3位鹿児島県(6.4%)となっている。</p>				
オンシジウム	実績	21年	7,898	812	
		22年	6,339	796	
		23年	6,000	750	
		24年	5,965	734	
		25年	6,775	652	
	5ヶ年平均		6,595	751	
	26年見通し		6,000	667	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。さらに作付けが少なく、高温により花芽が上がっていないのが要因か。例年、暑さによる傷みが出ているので、出荷時に注意していただきたい。 昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(54.8%)、2位長崎県(14.3%)、3位山梨県(8.7%)となっている。</p>				
アンズリウム	実績	21年	12,509	753	
		22年	10,409	925	
		23年	12,468	718	
		24年	12,576	759	
		25年	13,345	748	
	5ヶ年平均		12,261	775	
	26年見通し		13,000	731	
概要	<p>入荷量は昨年並か。ピンク、塩、紫系は各サイズともに減少。4号に関しては白が少なめで赤中心となる見込み。 昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(97.3%)、2位岐阜県(1.6%)、3位三重県(0.6%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シヤコバサボ	実績	21年	58,511	370	
		22年	49,516	395	
		23年	45,961	392	
		24年	39,762	390	
		25年	49,141	375	
	5ヶ年平均	48,578	384		
	26年見通し	50,000	360		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。関東地方における2月の大雪の影響が懸念されたが、安定の見込み。3・5号～5号までの引き合いが今年も強い。6号以上の高単価なものは年々厳しい状況。</p> <p>昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉県（60.9%）、2位愛知県（33.8%）、3位茨城県（5.1%）となっている。</p>				
シクラメン	実績	21年	86,577	150	
		22年	81,102	149	
		23年	85,045	148	
		24年	35,883	141	
		25年	148,054	149	
	5ヶ年平均	87,332	148		
	26年見通し	145,000	145		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。9月に関しては、ほぼガーデンシクラメンに限られる予想。昨年同様に上旬については、まだ残暑が残るために価格面では厳しい見込み。</p> <p>昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位長野県（77.4%）、2位愛知県（11.4%）、3位奈良県（3.0%）となっている。</p>				
カラコエ	実績	21年	78,366	191	
		22年	63,300	181	
		23年	65,686	182	
		24年	66,622	180	
		25年	67,390	186	
	5ヶ年平均	68,273	184		
	26年見通し	65,000	185		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨年に引き続き、6号のミックス植えの引き合いが強い。また、4号に関しては安定の見込み。</p> <p>昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉県（59.5%）、2位岐阜県（31.5%）、3位茨城県（7.5%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績 (2014年)

1 輸入実績

品名	6月						6月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	67,684	111.5	5,910,148	77.2	87	69.2	485,693	121	49,633,990	105	102	87
トマト	509	92.3	199,100	94.9	391	102.8	3,114	95	1,243,495	98	399	103
たまねぎ	35,136	203.5	1,319,412	93.2	38	45.8	193,938	157	9,876,792	115	51	73
にんにく	1,328	86.6	220,233	63.1	166	72.9	8,814	106	1,442,196	82	164	77
ねぎ	4,425	105.0	402,140	81.4	91	77.5	27,774	110	3,007,969	106	108	97
ブロッコリー	2,967	68.5	643,978	82.7	217	120.7	18,011	94	3,576,651	100	199	107
結球キャベツ	1,445	68.5	41,379	46.0	29	67.2	25,970	153	1,070,468	161	41	106
にんじん・かぶ	6,504	104.9	258,664	72.1	40	68.7	39,112	101	2,139,933	99	55	98
ごぼう	3,300	113.1	244,944	173.5	74	153.4	22,204	124	1,975,556	229	89	184
えんどう	38	19.6	10,456	14.7	275	74.9	437	38	147,041	37	336	96
アスパラガス	229	40.0	162,826	37.5	711	93.9	7,464	112	4,183,883	112	561	100
まつたけ	1	-	1,631	-	1,631	-	1	59	1,631	32	1,631	55
しいたけ	86	71.4	34,037	67.1	396	94.0	1,419	75	539,418	85	380	113
かぼちゃ	3,083	21.4	335,174	25.6	109	119.7	79,807	94	6,380,416	98	80	105
果実(生鮮・乾燥)	169,184	92.3	30,085,912	94.9	178	102.9	868,843	92	145,294,980	107	167	115
バナナ	81,868	80.4	7,756,459	81.5	95	101.4	477,485	97	42,071,930	104	88	107
パイナップル	15,117	87.6	1,131,634	99.0	75	113.1	80,187	90	5,798,039	109	72	121
レモン	4,108	74.4	885,829	102.7	216	138.0	22,188	98	4,553,300	145	205	147
オレンジ	14,638	291.8	1,984,095	333.0	136	114.1	48,191	72	7,237,974	98	150	136
グレープフルーツ	19,707	229.6	1,681,834	176.4	85	76.8	66,101	82	7,596,758	89	115	109
メロン	2,069	41.4	249,414	46.0	121	111.3	18,983	94	2,048,791	94	108	100
ぶどう	3,878	130.3	1,155,223	173.0	298	132.8	14,876	115	3,659,363	124	246	108
キウイ	8,826	75.0	3,080,824	77.9	349	103.9	32,823	107	11,973,767	118	365	111
いちご	322	1562.1	312,524	1429.8	971	91.5	359	98	351,907	99	979	101
切花(生鮮・乾燥)	2,408	79.9	2,061,492	79.3	856	99.2	19,252	92	16,982,577	103	882	112
鳥獣肉類	162,456	93.9	81,802,609	97.9	504	104.3	918,810	107	454,575,201	112	495	105
牛肉(くず肉含む)	44,258	79.5	24,376,143	84.3	551	106.0	235,299	97	127,444,452	104	542	107
豚肉(くず肉含む)	66,282	100.4	37,365,432	107.4	564	106.9	407,037	113	220,880,018	116	543	103
鶏肉	41,873	104.0	11,944,736	103.1	285	99.1	220,676	106	61,757,999	109	280	103
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	133,003	86.7	82,968,405	88.0	624	101.5	808,754	96	529,098,197	109	654	113
まぐろ類	15,499	87.5	12,549,579	90.8	810	103.7	101,615	97	92,856,104	107	914	110
さば・さんま・あじ・いわし	3,789	104.4	885,936	117.3	234	112.4	38,419	107	8,768,401	135	228	126

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	243	103.8	211,467	147.1	870	141.7	8,733	108	3,812,106	121	437	113
うんしゅうみかん	5	63.5	6,837	78.0	1,367	122.8	265	169	162,123	185	612	110
りんご	152	84.9	68,064	102.2	448	120.4	8,019	106	3,016,453	118	376	112
なし	-	-	-	-	-	-	8	46	4,365	48	529	104
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	343,683	143.9	-	-	-	-	1,580,759	119	-	-
緑茶	222	90.6	534,260	99.2	2,407	109.6	1,576	122	3,624,411	122	2,300	100

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

年 月		消費者物価指数				
		総 合	生 鮮 野 菜	生 鮮 果 物	肉 類	魚 介 類
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年 3月	101.0	98.2	110.6	103.0	108.5
	4月	103.4	98.5	109.4	105.9	111.4
	5月	103.5	97.2	115.0	106.8	111.3
	6月	103.4	94.9	110.3	107.5	111.6
	愛 知 県	24年平均	99.7	98.0	105.3	99.1
25年平均		100.1	105.2	104.9	100.1	103.2
26年 3月		100.5	103.7	116.6	100.8	108.5
4月		100.8	100.3	114.9	102.9	108.2
5月		102.9	102.3	117.2	101.1	107.9
6月		103.2	98.7	113.0	106.4	112.1

年 月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物 総 合	米	野 菜	果 実	畜産物
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	105.5	106.3	100.9	103.3	112.6
	26年 3月	107.9	102.5	112.7	101.8	111.4
	4月	106.4	102.2	105.7	111.5	112.8
	5月	105.8	103.6	98.5	97.0	115.4
	6月	100.3	102.5	91.9	95.3	119.7
	愛 知 県	24年平均	99.7	98.0	105.3	99.1
25年平均		100.1	105.2	104.9	100.1	103.2
26年 3月		100.5	103.7	116.6	100.8	108.5
4月		100.8	100.3	114.9	102.9	108.2
5月		102.9	102.3	117.2	101.1	107.9
6月		103.2	98.7	113.0	106.4	112.1

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)														
年 月	品目 単位	うるち 米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キ ャ ベ ツ	は く さ い	ね ぎ	レ タ ス	ば れ い し ょ	だ い こ ん	に ん じ ん	た ま ね ぎ	き ゆ う り	ト マ ト	生 しい た け	りん ご (ふ じ)
		5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均		2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年平均		2,084	149	182	649	442	299	163	388	231	569	695	162	567
26年 3月		2,016	207	167	627	545	306	156	391	305	588	624	172	485
4月		1,998	201	191	643	598	308	175	404	311	600	625	172	501
5月		2,047	154	187	562	413	322	161	466	310	503	645	149	523
6月		1,969	135	196	707	329	337	165	333	263	499	545	153	669
年 月	品目 単位	み か ん	グ レ イ プ フ ル ー ツ	オ レ ン ジ	い ち ご	バ ナ ナ	キ ウ イ フ ル ー ツ	緑 茶 (せん 茶)	カ ー ネ ー シ ョ ン	き く	パ ラ	豚 肉 (ロ ー ス)	牛 肉 (ロ ー ス)	ま ぐ ろ
		1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g					
24年平均		582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年平均		581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	390
26年 3月		599	362	429	145	228	785	531	161	177	351	228	812	403
4月			344	441	152	248	809	537	170	176	351	229	844	405
5月			363	430	159	251	801	541	164	180	332	232	851	409
6月			364	459		246	852	530	164	180	332	232	851	409

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 495
平成26年9月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421